

視点 学びのすすめと 支援する社会

4月新年度を迎えた。

高校を卒業して、大学や専門学校で学びの生活を始めた人、故郷を離れて就職し社会人としてのスタートを切った人、地元に残り仕事や地域活動にがんばることに決めた人、それぞれが新たな気持ちで世の中に漕ぎ出し始めた。

気仙管内の高校卒業生の進路は

平成27年度の気仙管内の高校卒業生は547人。そのうち大学や専門学校に進学した生徒は411人で75.1%になる。また、地元を離れて就職した生徒は66人で、卒業生の87.2%が故郷を離れ旅立った。ちなみに、地元就職した生徒は60数名である。

市は、平成25年と27年に、気仙管内の高校生1、2年生を対象にアンケートを行っている。8〜9割の卒業生が地元を離れる中で、いつかは地元に戻ってきたいと答えた生徒は6〜7割あり、地元で十分な教育が受けられ、それを生かした仕事があれば地元に残りたいと答えた生徒は8割に上ったという。

進学率は年々高まっており、大学や専門学校で学ぼうと希望する生徒は多くなっている。一度は地元を離れて一人暮らしをしてみたいと考える生徒もいるだろう。学びを支える社会の現実はいかにあるか。

一方で、母子家庭や非正規労働者が増加した。子供の貧困、格差の拡大など、子供たちの学びを支援する経済環境は厳しくなっている。

いるように思われる。

大学生の奨学金が大学卒業後返済が困難な人が続出しているという。

大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負ってしまう。奨学金に頼らなければ大学等に進学できず、不安定な雇用で「返したくても返せない」など大きな社会問題となっている。

また、保護者の中には、高額な学費負担が困難になり、生活費の安い地域、できれば通学可能な学校に進学を希望され、大学や専門学校への進学希望者の地元志向が全国的に強くなっているという調査結果もある。

誰もが家庭の事情に関係なく一定の条件の中で、希望すれば大学にも、専門学校にも進学できるようにしたいものだ。

学ぶことの大切さと支援する社会

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」との言葉を残した福沢諭吉は「いま見渡してみれば、賢い人もいれば、愚かな人もいる。貧しい人もいれば、裕福な人もいる。この格差は、学ぶか、学ばないかによって生まれるものなのです。」とも言った。学ぶことの大切さをすすめ、それを支援する社会のあり方が問われているように思う。

国は、大学の給付型奨学金を創設し、2018年度入学生をめどに制度をスタートさせるといふ。



議会：主な活動日誌

2月8日	全員協議会、市政調査会研修会
9日	産業建設常任委員会と岩手県建設業協会大船渡支部との意見交換、復興特別委員会教育福祉部会、岩手沿岸南部広域環境組合議会2月定例会
10日	総務常任委員会
13日	気仙広域連合議会第1回定例会、大船渡地区消防組合議会第1回定例会、大船渡地区環境衛生組合議会第1回定例会、第9回赤崎地区・蛸ノ浦地区小学校統合協議会
14日	議会運営委員会、復興特別委員会幹事会
16日	第2回大船渡市都市計画審議会、陸前高田市及び大船渡市営林組合議会全員協議会、第19回赤崎小・中学校建設委員会
17日	第1回定例会（初日）、月例報告会、会派代表者会
21日	議会運営委員会、岩手県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
22日	第1回定例会（2日目）、復興特別委員会、市政調査会役員会
24日	正副議長・常任委員長懇談会
28日	大船渡市災害復興に係る第1次提言書提出
3月2日	第1回定例会（一般質問）、第10回赤崎地区・蛸ノ浦地区小学校統合協議会
3日	第1回定例会（一般質問）、産業建設常任委員会
9日	予算審査特別委員会、会派代表者会
10日	予算審査特別委員会、議会運営委員会
16日	第1回定例会（最終日）、全員協議会、教育福祉常任委員会、大船渡市土地開発公社清算人会議
17日	市政調査会管内研修視察（大船渡港湾口防波堤）
21日	議会運営委員会、陸前高田市及び大船渡市営林組合議会定例会
24日	市政調査会研修会、教育福祉常任委員会
28日	産業建設常任委員会と大船渡市漁業協同組合との意見交換

編集後記

彼岸明けともなり、木々の芽が膨らんですっかり春めいて参りました。今号が皆様のお手元に届く頃には桜も咲き、通学路にはピッカピカの一年生のランドセル姿も見られていることでしょう。

ところで、この「市議会だより」は、年4回、定例会の後に発行し、議会の様子についてお知らせしています。昨年4月の選挙以来、新体制で6月、9月、12月、そして今年4月を発行し、一サイクルしたことになります。編集にも大分慣れてきました。今後いっそう皆様に親しまれる「だより」にしていきたいと考えています。何かお気づきの点がございましたらお気軽にご意見をお寄せ下さいますようお願いいたします。

市議会だより 編集委員会

委員長	今野 善信
委員長	東 堅市
委員	金子 正勝
委員	奥山 行正
委員	田中 英二
委員	千葉 盛
委員	平山 仁



「大船渡市議会だより」は、国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。